

## 研究発表 I

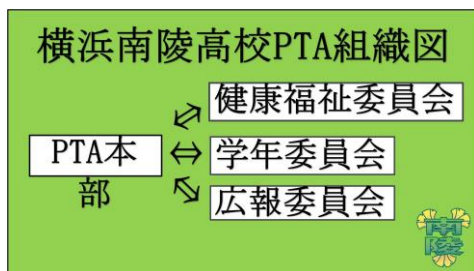
発表者 佐藤 (PTA 会長)、宮本 (PTA 副会長)、清水石 (本部)、涌谷 (健康福祉委員会)  
大石 (学年委員会)、床波 (広報委員会)、  
学校名 横浜南陵高等学校 P T A  
研究テーマ 「学び行動する P T A」

### 1 学校紹介

平成 11 年に県立高校改革推進計画において、横浜日野高校と野庭高校が統合して開校した学校です。四季折々の花が美しい日野中央公園の近くにあり、通学に置いてもアクセスがしやすい場所にあります。現在 20 学級 781 名の生徒が在学しており、賑わいのある学校生活を送っています。

### 2 PTA 組織について

横浜南陵高校 PTA は、本部と健康福祉委員会、学年委員会、広報委員会と 4 つの柱で構成されており、時代のニーズに乗り、昨年度から委員会の役員は希望性を取っています。



### 3 PTA 本部 ※手話でも説明しました。

PTA 本部では、子供達の為に私達ができる事を、学校や地域と連携し、会員同士が助け合いどんなサポートができるのか話し合い、活動しています。文化祭においては、横浜南陵高校のロゴが入った南陵グッズ等を販売し、文化祭実行委員会の生徒と話し合い、売上からテントを購入することができました。

観劇の企画では、日頃の忙しさを忘れて、楽しいひと時を過ごしてもらうため実施しています。今年度は劇団四季の「アラジン」を観賞する予定です。例年、鑑賞後は、食事会を設け、情報交換の場として賑わっています。

卒業式では、新たな門出を祝い、コサージュと、南陵どら焼きを生徒全員に配付しています。また、寒い時期なのでカイロを用意し寒さ対策にも万全の準備をしています。

今後もスチューデントファーストを貫き、生徒目線で考え、少しでも生徒が笑顔で楽しい学校生活を送れるように頑張っていきたいと思います。



### 4 健康福祉委員会 ※手話でも説明しました。

花いっぱい運動は年 3 回、校内花壇の整備、花の植え替えを行っています。お花は地域の花屋さんにご相談し、おすすめの花を購入します。どの場所に配置したら良いかも写真にて教えてくださるので、綺麗にお花を配置することができます。

10 月に行う次の植え替えまでに枯れないよう、夏休みには学校に行って花の水やりをします。遠くから高校に通う生徒もいる為、水やりの日にわざわざ来るのは大変ですが、南陵高校では夏休みに三者面談があるので、その時に合わせて水やりをしたり、部活で登校するお子さんにやってもらったりと臨機応変に対応しています。

美化活動は土曜日の午前中に行っています。各階大体同じ位置にトイレがあるので 2、3 人ずつのグループになり、清掃等を行っています。その際、芳香剤、電池 (消音機用)、消毒液を持って三か所に分かれて下の階からこれらの交換をしています。消毒液はコロナ禍で使用する生徒が多くなったように感じます。生徒の使いやすいトイレ作りをすることも、美化活動の一環だと考え活動しています。



## 5 学年委員会 ※手話でも説明しました。

学年委員会は、会員と学校との連携調整にあたりるとともに、行事やイベントの企画調整を通して会員相互の交流を図ります。5月の学年懇談会のお手伝いからスタートし、制服のリサイクル活動、南陵祭の出店、保護者向けの講習会又は講演会など、学校と連携してさまざまな活動を行っています。月の定例会では、学年の垣根を越えて情報を共有できるような雰囲気作りに努め、有意義な場となるよう活動しております。

令和4年度から担当となった制服リサイクル活動は、少しずつ浸透し、南陵生を支えています。SDGsに通じる取り組みをしており、今後はより学校行事を活用して、回収や提供の場を考えていきたいと思っております。

3年ぶりに行われた令和4年度の南陵祭は、学校全体が喜びに満ち溢れていました。最初で最後の南陵祭となった3年生の笑顔と「楽しかった…」の言葉が忘れられません。

講習会・講演会の開催は、保護者の親睦を図る事はもちろん、楽しい時間、有意義な時間、癒しの時間を過ごしていただけたらとの想いで準備に取り組んでおります。昨年度は、ちりめん細工でお正月飾り作り、今年度は、「ダブルケア・ヤングケアラー」という講演会を予定しています。



## 5 広報委員会 ※手話でも説明しました。

広報委員会は、職員紹介や学校行事などを掲載した広報紙を年2回発行しています。学校行事では、生徒の皆さんが楽しむ様子や、真剣に取り組んでいる姿を、近い距離で撮影や取材をしています。行事の撮影は、1日中撮影をして大変なこともあります。私たちが行事に参加している気持ちになり、とても楽しんで撮影をしています。学校でしか見られない生徒の様子をお伝えできるような広報紙の発行に取り組んでいます。

広報紙の発行を終えると、生徒配布用に各クラス毎の部数に仕分け、先生に配布依頼を行います。また、神奈川県の高校・横浜市内の中学校宛に広報紙の郵送も行います。200部近くを郵送するため、封詰め、宛名ラベル貼りなど地道な作業を行います。皆で揃って作業を行うとあっという間に終わります。集まって作業することで、連帯感も生まれ、意外と楽しい時間です。

定例会は、月1回ペースで全学年の委員が集まります。日々、連絡ツールでの情報共有を進めていますが、顔を合わせて話すことも大切です。広報委員の人数は少ないので、「やれる人がやる！」を合言葉に、各学年が協力し相談しながら取り組んでいます。広報紙の発行や運営委員会では、初めて取り組むことも多くありますが、日々学んで行動しています。



## 6 副会長の野望

断れない性分から副会長をやることにしましたが、やると決めたら全力でやります！

1. トイレのリノベーション  
外のトイレが古くなっているので、見積もりを取り、文化祭の売り上げを参考にし、何年で建て替えられるか企画書を作る。
2. 南陵祭での未成年の主張  
生徒会とコラボして名物企画を作る。
3. 自販機内容の検討  
高校生が必要な飲み物を検討し販売してもらえるように交渉する。
4. 売店  
いろいろなものを入れ売店のメニュー表などを作成し生徒が利用しやすい環境づくりを進める。

助言者講評

研究発表 I 「学び行動する P T A」  
横浜南陵高等学校 P T A

横浜氷取沢高等学校 校長 坪内 幸子

横浜南陵高校の PTA の皆さん、本日は本当にありがとうございました。

今、本当に先ほどのコメントではないんですけど、楽しませていただきました。本当にありがとうございました。と同時にですね、実は危機感を覚えました。もしかしたら、今、もう私。学校の職員よりも保護者の皆さんの方が、学校に対しての思いが熱いのではないかと、ちょっとこれはまずいなというふうに思いました。でもね、本当に素敵で、手話を覚えるというのは、本当に大変なんですよね。私は頑張りましたが、五月ぐらいにね。でもなかなか覚えられなくて。三日ぐらい経つと、あれこんにちはってどうだっけというふうになってしまって。なのに、ここで披露してくださったのは、本当にすごくなと思います。皆さんの気持ちの熱さが本当に伝わってくるいい発表だったと思います。助言とかそんな言葉は、逆に私の方にさせていただきたいぐらいでしたので、これからもですね、ぜひ、ぜひ南陵高校を支えて、私たちもしっかり見ていきますので、どんな学校になるのかな。トイレがどれぐらいきれいになるのかな。楽しみです。本当にありがとうございました。実は、私自身も高校生の子どもを持つ母親ですので、何か保護者として深い反省をいたしました。もう少し学校のために私も頑張らなきゃなと思います。

とても勇気をいただきました。ありがとうございました。